

NRIグループの知財業務ソリューションについて紹介

主催：NRIサイバーパテント 2011年11月29日（東京）

知財業務の「フルサポートパートナー」を目指すNRIサイバーパテントは、提供するサービス・ソリューションの紹介を目的に、夏と冬の年2回本セミナーを開催している。今回は、「NRIサイバーパテントデスク2」ユーザーである新日鐵化学知的財産部の中西朋宏氏、およびNRIサイバーパテントの電子タイムスタンプ事業を支援いただいているアマノビジネスソリューションズの板谷雄二郎氏を迎えて以下の3部構成とし、企業の知財部門を中心に多数の参加をいただいた。

①知的財産コンサルティング・アウトソーシングサービスの紹介

知的財産コンサルティング事業部の安高史朗が、特許分析ソフト「TRUE TELLERパテントポートフォリオ」（日本語・英語解析版）に新たに加わった中国語版、知財マクロ調査・各種コンサルティングサービスについて紹介した。また、知的財産情報サービス事業部の竹内徹が、「業務・システム診断（業務分析）サービスのご紹介」と題して、知財業務における現状業務の棚卸・特許管理システム導入サポートまでの業務コンサルティングを提案した。

②タイムビジネス市場の現状と課題

アマノビジネスソリューションズの板谷雄二郎氏からは、国内におけるタイムスタンプの現状として、特許庁をはじめ財務省や国立印刷局等、日本国政府、銀行、病院などさまざまな業界での活用事例を紹介いただいた。また、タイムスタンプの有効期間延長やタイムスタンプによる権利証明の判例など、最新事情も紹介いただいた。

次に知的財産情報サービス事業部の新妻信人が、

NRIサイバーパテントが提供する電子タイムスタンプサービス「Cyber Date Stamp（サイバー・デート・スタンプ）」の機能や活用シーンに加えて、タイムスタンプ付与後の運用を軽減する新機能を紹介した。

③新日鐵化学の「NRIサイバーパテントデスク2」活用例

新日鐵化学の中西朋宏氏から、まず全社規模でNRIサイバーパテントデスク2を選んだ理由について講演いただいた。NRIサイバーパテントデスク2は、研究者がどこでも簡単に特許調査ができる検索ツールであるため、研究者の特許調査のレベルアップに役立つと判断したという。

次に特許調査の目的と流れを説明した後、中西氏が長年にわたってNRIサイバーパテントデスク2を駆使し、蓄積してきた特許調査手法のノウハウを披露いただいた。また、知的財産情報サービス事業部の田嶋龍太郎が、NRIサイバーパテントデスク2の新機能について紹介した。

セミナーの多数の参加者からは、「すぐにでも活用したい」など大きな反響があった。

NRIサイバーパテントは、ユーザーの声をサービスに迅速に反映し常に進化し続けている。質の高いサービスを今後も提供するとともに、来場者を魅了するようなセミナーを企画・開催していきたい。

.....

本セミナーについてのお問い合わせは下記へ

主担部署：NRIサイバーパテント

知的財産情報サービス事業部

担当者：新妻信人

電話番号：03-5208-1011

電子メール：patent@nri.co.jp